

株式会社ジェイ・ポート

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間： 2021 年8月1日～ 2022 年7月31日)



作成日： 2022年10月1日

環境経営方針

＜環境経営理念＞

私たちが関わる産業廃棄物業界においては、不法投棄、有害物質の発生、大気汚染、自然破壊といったネガティブなイメージが先行している一面が少なくないかもしれません。

ある意味それは当業界の業務が環境に多大な影響を与えることを示しており、今後、我々は人・社会・自然など地球のすべてのものと共生をすることを考えた上で環境保全活動に率先して取り組まなければならない責務を負っていると言えます。

同時にその影響力をもって、我々の地道な業務の積み重ねにより世の中をいい方向に変えられるという気概を社員一人一人が持ち続けたいと考えます。

これまで私達が不自由なく享受してきた水・大地・空気といったかけがえのない地球の財産を次世代に美しい状態で引き渡すため、ひいては経済活動（エコノミー）と環境保全（エコロジー）が両立できる持続可能な社会を創り出すため、その社会的責任を自覚し、社員一丸となり継続的に環境活動に取り組んで参ります。

＜環境保全への行動指針＞

1. 私達は、大量消費社会から循環型社会への転換を図るべく以下の環境方針に沿って、環境保全活動に取り組めます。
環境関連法令と当社が承認した協定等を遵守し、産業廃棄物の適正処理を行います。
2. 省エネルギー、省資源、再資源化に配慮した事業活動を展開します。
また、電気使用量、燃料消費量、ゴミの排出量等の数値を把握し削減目標及び再資源化（リサイクル率）向上を目指し、目標達成できるよう社内全体で努めます。
3. 社内での意識を高める為、社員への環境教育、啓蒙活動を行います。
4. 社外に対し、環境活動レポートを公表し、当社で行う環境保全活動を紹介し環境に関する情報を提供します。
5. 地域に根差した企業として住民の皆様の要望に耳を傾け、協力し環境コミュニケーションを大切にしていきます。



制定日：2008年10月1日

改定日：2021年1月12日

□組織の概要

更新日：2022年8月31日

(1) 名称及び代表者名

株式会社ジェイ・ポート
代表取締役 樋下 茂

(2) 所在地

本社 大阪府大阪市鶴見区今津北3丁目3番13号
第二工場 大阪府大阪市鶴見区今津北3丁目2番10号
此花リサイクル工場 大阪府大阪市此花区梅町2丁目3番55号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役 樋下 香織 TEL：06-6963-5351
担当者 環境事務局 松本 輝希 TEL：06-6963-5351

(4) 事業内容

産業廃棄物処分業（中間処理）、産業廃棄物収集運搬業（積替保管あり）
特別管理産業廃棄物収集運搬業（積替保管あり）、道具商、金属くず商

(5) 事業の規模

法人設立 1996年8月2日
事業年度 8月～翌年度7月
資本金 1,300万円
売上高 629百万円

	本社	第二工場	此花リサイクル工場
従業員	47名		
床面積	423.8 m ²	326.75 m ²	330 m ²
敷地面積	438.9 m ²	339.9 m ²	2,951 m ²
駐車場	202.00m ²		—

受託した産業廃棄物

収集運搬量	11,970 t		
収集運搬量（特管）	40 t		
中間処理量	1,074 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	1,074 t	うち再資源化量	0 t

所有車輛	台数	車種	台数	車種	台数
10 t コンテナ車	1台	6 t プレス	1台	パワーショベル	3台
8 t コンテナ車	2台	3 t プレス	2台	フォークリフト	3台
4 t コンテナ車	2台	2 t プレス	1台	ホイールローダー	1台
2 t コンテナ車	1台	3 t 平車	1台		
2t車	2台	営業車	4台		

工場設備	本社工場		第二工場		此花リサイクル工場
	産廃	特管産廃	産廃	特管産廃	産廃
保管面積	165m ²	10m ²	148m ²	13m ²	82.5m ²
保管上限	106m ²	2m ²	73m ²	2m ²	2.5m×1/2
積み上げ高さ	2.1m	1m	2m	0.7m	103m ²
設備	150 t プレス1基、75 t プレス1基		30 t トラックスケール		一軸破碎機
	天井式クレーン2基、切断機2台		天井式クレーン2基		4.7 t/日

※プレス機は現在使用停止中

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ジェイ・ポート
対象事業所：本社
第二工場
此花リサイクル工場

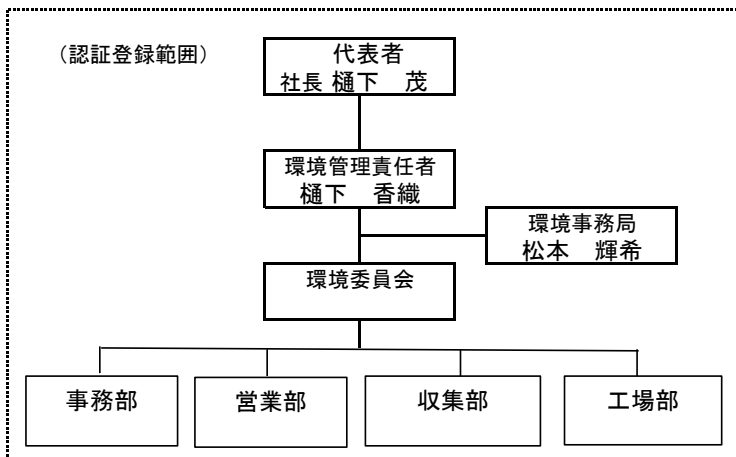
活動：産業廃棄物処分業（中間処理）、産業廃棄物収集運搬業（積替保管あり）
特別管理産業廃棄物収集運搬業（積替保管あり）、道具商、金属くず商

□事業の紹介

清掃法が成立した昭和29年、大阪市より一般廃棄物収集運搬業の許可を得て以来、65年にわたり廃棄物に携わっている会社です。時代とともに法律が変わり、一般廃棄物のみならず、産業廃棄物に特化した株式会社ジェイ・ポートを設立し、多様なニーズに応じております。主な事業は産業廃棄物処理業です、運ぶ、中継する、処分するを一貫して行っております。また、海外へのリユース品の輸出するリユース事業、お客様に環境に関する情報を提供、セミナーなどを行う環境コンサル事業も行ってあります。

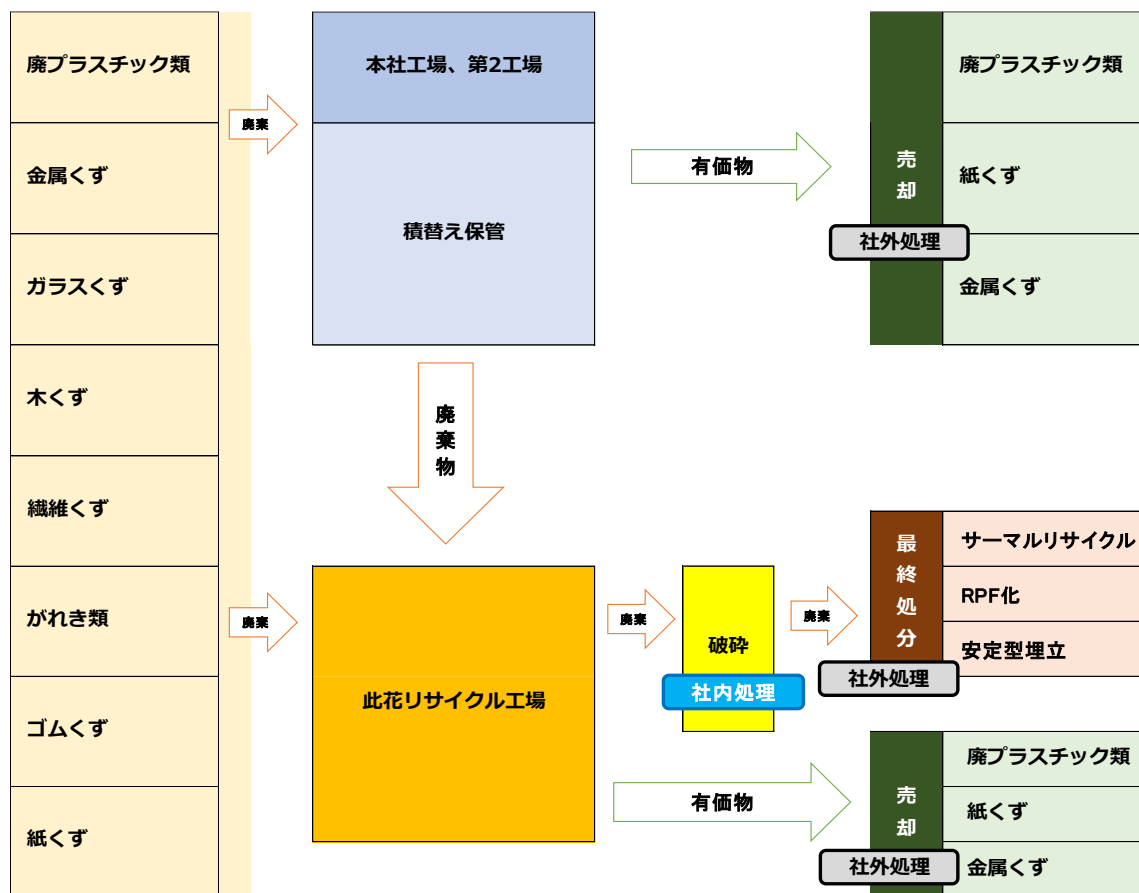
□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2022年8月31日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□廃棄物処理フロー



処理料金につきましては、引き取り場所、品目等により異なりますので、当社までお問い合わせください。

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	170,399	147,813	158,491
受託収集運搬量	トン	10,922	9,155	11,970
受託中間処理量	トン	1,397	1,164	1,074
廃棄物排出量	kg	81	82	87
一般廃棄物排出量	kg	81	82	87
水使用量	m ³	536	628	693
C02排出係数		0.334	0.334	0.334
電力会社		関西電力	関西電力	関西電力
採用年度		2018年度	2018年度	2018年度

□環境経営目標及びその実績

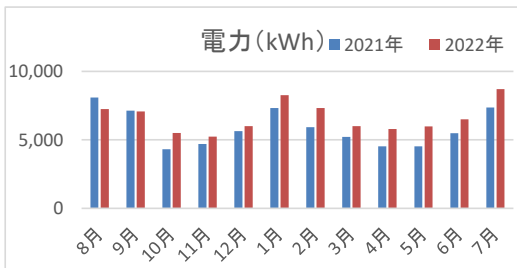
項目	年度	基準値 (基準年)	2022年		評価	2023年	2024年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	23,517	22,341	26,593	×	22,106	21,871
	基準年度比	2021年	95%	113%		94%	93%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	124,296	119,324	131,898	×	118,081	116,838
	基準年度比	2021年	96%	106%		95%	94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	147,813	141,665	158,491	×	140,187	138,709
一般廃棄物の削減	kg	82	74	87	×	71	71
	基準年度比	2021年	90%	106%		87%	86%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	—	81%	84%	○	82%	83%
水道水の削減	m ³	628	565	693	×	553	546
	基準年度比	2021年	90%	110%		88%	87%
環境に配慮した収集運搬	行動目標 (次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

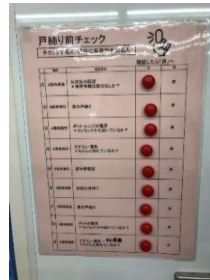
数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	チェックリストによる管理や表示物の啓発により、無駄な電力消費を抑えています。結果として使用電力は増えてしまい、原因として使用部屋・噴霧器の増加が考えられます。引き続き電力削減を行っていくとともに、チェックリストを用いて管理していきます。
・エアコン温度管理の徹底(夏:28度、冬:20度)	○	
・不在の部屋の消灯徹底	0	
・電機ポット(保温)は日中のみ使用	0	

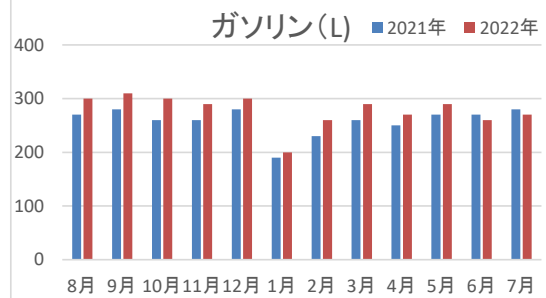


取組紹介欄



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2021年	8,087	7,133	4,308	4,701	5,641	7,319	5,919	5,226	4,532	4,532	5,490	7,364
2022年	7,250	7,079	5,500	5,239	5,995	8,268	7,319	6,001	5,792	5,974	6,508	8,695

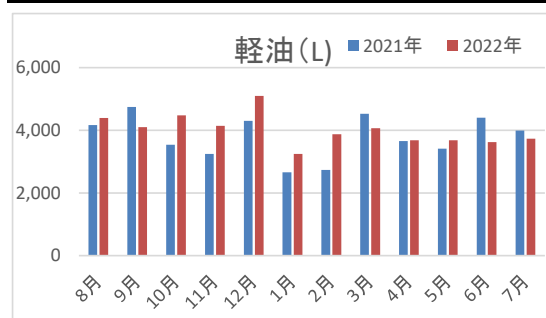
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	X	定期的な収集経路のチェックで効率化を図り、走行距離の削減をしております。 また、IP無線を利用することで、収集ルートが見える化となっています。 業務チームで月に一度ミーティングを行っているため、更なる効率的なルート作成及びエコドライブの周知を行ってまいります。 次年度も引き続き継続した活動を行ってまいります。
・エコドライブの徹底	○	
・合理的な収集経路	0	
・車両点検の徹底	0	



取組紹介欄



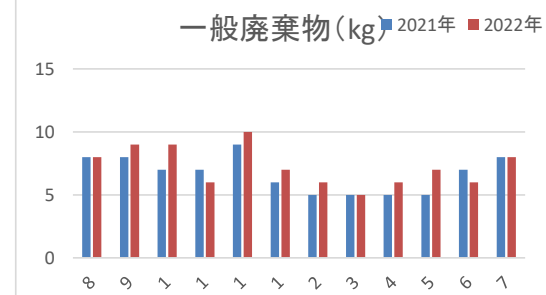
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2021年	270	280	260	260	280	190	230	260	250	270	270	280
2022年	300	310	300	290	300	200	260	290	270	290	260	270



取組紹介欄

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2021年	4,167	4,749	3,543	3,243	4,301	2,662	2,736	4,526	3,653	3,414	4,400	3,995
2022年	4,393	4,104	4,479	4,145	5,095	3,245	3,871	4,066	3,683	3,680	3,625	3,734

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	X	分別の為、ゴミ箱を6種類設置しています。 お客様への説明の際にも必要なので、社員教育にも役立っています。 目標値を達成するため、ペーパーレス等更なる削減に努めてまいります。
・分別の徹底	○	



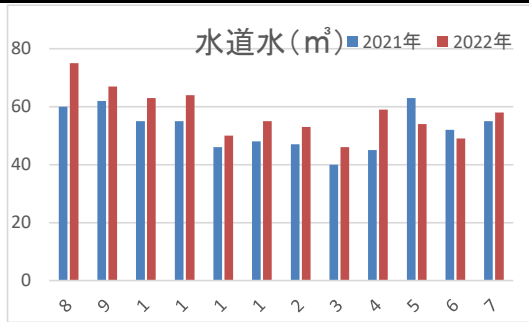
取組紹介欄



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2021年	8	8	7	7	9	6	5	5	5	5	7	8
2022年	8	9	9	6	10	7	6	5	6	7	6	8

受託廃棄物のリサイクル率の向上		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	現地見学会は、今年度もコロナ禍の為中止としました。 社内の勉強会は今後も定期的に行い、選別の強化＝リサイクル率の向上に努めてまいります。
・排出先の選定		0	
・選別の徹底		0	
・リサイクル先の開拓		0	
・処分施設の見学		0	

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	各車両ごとに担当と清掃時間を設けることで、洗車の重複がなくなりました。各工場内での散水の為、使用量が増加してしまいましたが、それ以外で節水を呼びかけ水道使用量を使用しないように気を付けています。次年度も使用量削減を目指します。
・散水時の節水		0	
・洗車時の節水		0	
・トイレの二度流し禁止		0	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2021年	60	62	55	55	46	48	47	40	45	63	52	55
2022年	75	67	63	64	50	55	53	46	59	54	49	58

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
・作業開始前の車両点検	0	積み残しはありませんでした。 次年度も引き続き行います。
・エコドライブの推進（燃料使用量は別項）	0	
・積み残しの削減	0	
・車両の清掃	0	

取組紹介欄



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。


適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物
大阪府条例（流入車規制）	収集運搬車
フロン排出抑制法	空調機の定期点検
家電リサイクル法	今期廃棄無し

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災発生（本社工場）	
■実施日： 2022年7月5日	■実施場所 本社工場
■参加者： 本社勤務全従業員	■実施内容 火災訓練
■実施状況の様子	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし





廃棄物からの火災を予測し、火災訓練を全社員で行いました。引き続き、年に一度社内全体を通した避難訓練を行っていきます。
また、火災対応手順書の変更の必要性がないことを確認しました。

緊急事態の想定： 火災発生	
■実施日： 2022年1月11日	■実施場所 此花工場
■参加者： 此花工場勤務全従業員	■実施内容 消火器点検
■実施状況の様子	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし





火災の発生を予測して、火災対応に対するシミュレーションを行いました。消火器の確認は毎月1回行っています。
また、火災対応手順書の変更の必要性がないことを確認しました。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年9月20日

ここ数年のコロナ禍に社会も慣れてきており、活動量が増えてきていると感じています。弊社でもその活動量は増えてきており、そのため、数値目標を達成することが叶いませんでした。ただ、活動量に正比例して数値が増えるのではなく少しでも増える幅を小さくするように全社で意識するようにSDGsに絡めた掲示物を増やしたり社員は工夫をしていました。また、車両や電子機器、家電は、最新のものは省エネ製品が増えていますので、そういうものに入れ替えるよう社内に指示しております。また、5年間無事故無災害の表彰もいただきました。これは、ヒヤリハット、リスクアセスメント、災害時のための訓練を行っている成果だと考えています。引き続き、この現状行なっていることを続け、無事故無災害を続けていきます。次年度は、省エネ製品への移行、社員たちが環境活動に関心を持つ掲示物を利用し、社内での、環境活動をより深めていきます。



環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

2022年は、エコアクション21認証・登録を始めて13年目の年となりました。これは全てこれまで歴代にお世話になった審査人の方々のおかげだと感謝しております。エコアクション開始の際には何もわからずひたすら審査人の方にご指導いただきデータ集めから始め、認証・登録までたどり着きました。10年以上経過した今でも、毎年審査人の方に色々な事を教えていただき、継続していることは変わりありません。エコアクションを通して、弊社の環境問題に対する取り組みの見直しや、SDGs等の貢献について振り返ることもでき、社内教育の一環としても役立っております。エコアクションで培ったデータを元に、通常業務の更なる改善や新たなCSRの活動を行っていきます。今後も引き続きご指導ご鞭撻いただきながら、この環境マネージメントを続けていきたいと思っております。



